

納得できる家づくりお手伝い



自称、間取り診断士。「県内では初めての業種だと思う。全国でも知る限り20社ぐらいいかな」。家づくりにあたって、部屋の配置や間取りなどをアドバイスするのが主な仕事。業者以外の専門家の意見を聴くことで、納得できる家づくりに近づけるのだという。

3年前、県立宮崎工業高校の副校長を最後に定年退職した。第二の人生を模索するなか、社会や地域に恩返しできることは何か、と考えた。その答えが「間取りのセカンドオピニオン」だった。

教職時代の専門は建築。中でも住宅設計は得意分野だった。「生徒の考えた間取りを採点し、より良いプランになるようアドバイスしてきた。これまでの経験とノウハウをいかしたい」。半年間の熟慮のうえ、都城市の自宅を事務所会社に社を立ち上げた。

主治医以外の専門家に意見を聞き、より良い治療を患者が選ぶ「セ



ひろふみ 栞元 博文さん (63)

元県立高副校長の「間取り診断士」

カンドオピニオン」。「家は最大の買い物。なかでも間取りは予算や完成後の生活に大きな影響がでる」と家づくりに導入した。

業者を替えるとか、計画中のプランのあら探しをすることはないと。 「施主さんの間取りに関する不安やトラブルを解消し、より良い住環境を業者とつくっていくお手伝いできれば」

反応は良く、ネットを通して全国から依頼が舞い込む。設計士さんの提案がいま一つ「自分で間取りを決めたが不安」など悩みはそれぞれだが、「相談して良かった」と好評だ。

診断料は内容によって異なるが、3千〜8千5百円。新築やリフォームの間取りの提案(8千5百〜1万9千円)も行う。問い合わせはハウス設計(電話0986・77・2147)へ。

(寺師祥一)